

令和 8 年 6 月 26 日

令和 8 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院
学校関係者評価委員会

学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院 学校関係者評価委員会は令和 7 年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価委員会を開催いたしました。このことにつきまして下記のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会委員

学外委員（順不同）

- 三宮克彦様 社会医療法人寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部
- 津田恵美様 くまもと県北病院 看護部長
- 吉田一美様 向山地区第 3 町内 自治会長
- 椎屋 允様 九州中央リハビリテーション学院後援会会長（学生保護者代表）
- 古山 仁様 九州中央リハビリテーション学院同窓会会長（卒業生）

2. 学校関係者評価委員会

- 開催日時 令和 8 年 6 月 26 日（金）17：30～18：30
- 開催場所 九州中央リハビリテーション学院 1 号館会議室
- 外部委員 三宮克彦、津田恵美、吉田一美、椎屋允、古山仁
- 学院側 田島徹朗、山崎孝文、横山真由美、川窪昭子、柿下耕一（事務局）

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

1. 教育理念・目標
① 現状と課題 ・理念・目的・育成人材像に関しては寄付行為や学校案内並びに学院のホームページ等で周知を行っており、教育の特色についても学生生活のしおり等で明確にしている。
基準 1 評価、ご意見
・18 歳人口の減少問題について、今後どのような対策を講じるか。大学にはない、専門学校の特色を一層打ち出してほしい。 ・学生生活のしおりにどのような人材を育成したいと考えているのか、明確に基本理念、学院の教育目的・指針が示されている。特に問題はありません。 ・パンフレットにも学院理念（知育・体育・徳育）が大きく記載されとても分かりやすい。
2. 学校運営
① 現状と課題 ・教育成果に基づき教員面接が、定期的には実施されていない。また、非常勤講師との定期的な情報交換が行われていない。 ・実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を計画的に受講させていない。 ・教職員研修計画の作成が出来ていない。
基準 2 評価、ご意見
・教員面接は教育の質の向上のためにも定期的には実施をお願いしたい。上期と下期の年 2 回 ・何事にも事前の計画作成は不定期な部分もあり難しいとは思いますが、指導力の向上に向けて取り組んでいただきたい。

3. 教育活動	
① 現状と課題	・教育活動においては概ね適切に取組を行っているが、第三者による授業評価は不定期であり、特に非常勤講師に対する評価が行われていない。 ・国家試験を想定したカリキュラム構成の見直しをはじめ、より実践的講義内容の取組を取り入れたい。 また、学外交流も含め他職企業との連携による学生に対する自立支援を行っていきたい。
基準3 評価、ご意見	
・3・2・8 前回は授業評価アンケートへの学生の参加が少ないとあったが、今回は PC より各教員が個別に授業アンケート結果を確認でき、改善に努めていると評価してある。前向きに改善された結果だと評価する。 ・課題にもあるように、第三者による授業評価を定期的に行うことと、非常勤講師に対する評価も必要に思います。	
4. 学習成果・教育成果	
① 現状と課題	・常時、全学科国家試験 100%
② 今後の改善方策	・授業内容の見直し、課外の実施 ・国家試験の傾向分析と対策内容の見直し ・学生個々のメンタル含めた個別、チーム指導の強化
基準4 評価、ご意見	
・全学科国家試験 100%を目標として頑張っておられている。大きな PR ポイント ・学生のメンタルヘルスケアはとても大事だと思います。 ・卒業生の就職後の相談も実施されており、受け入れ先としてはとてもありがたい。	
5. 学生支援	
① 現状と課題	退学率の低減に向けた取り組みを行う必要がある。 また、卒業生に向けての卒後教育等の支援体制を構築する必要がある
② 今後の改善方策	退学の理由は多岐に渡っているが、積極的に情報収集を行い早期の対応を行う。
基準5 評価、ご意見	
・少子化が進む中、学生の確保にも今後は苦勞することが予想される。よって当学院を選んで入学された学生は、なるべく最後まで学習を続け夢に向かって突き進んでもらいたい。退学者の低減に向けた取組を望んでいます。	
6. 教育環境	
① 現状と課題	3 棟すべての校舎での防災訓練が実施されていない。
② 今後の改善方策	個々の建物ではなく学院全体での総合防災訓練の実施
基準6 評価、ご意見	
・学外実習時の実施要項はきちんと整っており、事前の説明会をしてもらっているため、実習を受け入れる方もとても受け入れやすい体制を整ってもらっている。	
7. 学生の受入れ募集	

① 現状と課題 適切に募集活動は行われているが、今後さらに選ばれる学院づくりをしていかなければならない 入学予定者への学習面での支援を行っていく必要があると思われる ② 今後の改善方策 いろいろな媒体を使用して学院の魅力、実績などをアピールしていきたい 更にガイダンス等への積極的な参加を行う
基準7 評価、ご意見
・様々な媒体を使用して、学生の魅力はアピールできていると思います。更に学院の魅力をアピールする方法としては、オープンキャンパスをより魅力的に積極的に活用してほしい。
8. 教育の内部質保証システム
① 現状と課題 自己点検自己評価の課題解決が出来ていないのと、その記録の作成が行われていない。また、学校関係者評価後の改善取組計画の作成等が実施できていない点が課題としてあげられる。 ② 今後の改善方策 課題抽出とその課題に対する改善計画の作成。また、学校関係者評価実施後の改善計画を作成
基準8 評価、ご意見
・ほぼ適切に行われているという評価ですが、課題としては自己点検自己評価後の課題解決、記録の作成等を上げている。すぐには難しいが今後も努力をしていただきたい。
9. 財務
① 現状と課題 全般的に概ね適切に行われている。
9. 評価、ご意見
・自己評価にもあるように、今後学生数の減少は避けられない状況にあるため、支出を抑える工夫が必要になってくると思われます。
10. 社会貢献・地域貢献
① 現状と課題 ボランティア活動においては実習など学校行事と重複することが多く、参加ができないこともある ② 今後の改善方策 可能な限り依頼先に協力できるようにする。 教員は側面的支援を行っていく。
基準10 評価、ご意見
・ボランティア活動は積極的に参加されており評価できます。
11. 国際交流
① 現状と課題 特になし ② 今後の改善方策 留学生対象の規則厳守の徹底化
基準11 評価、ご意見
・留学生の受入れに関しては、今後需要がますます増えてくると思われます。貴学院の特徴の一つとして大変だと思うが頑張してほしいと思っています。
全体に関する評価、ご意見

・昨年同様に非常に細やかに配慮されており、問題ないと思います。今後の少子化が学院の運営にも大きく影響してくると思いますので、一層の努力してほしいと思います。